



— 二学期のオペラ研修所で学ぶことに。舞台上と同じ志の仲間がまわりに何百人もいて、先生方も第一線で活躍している方ばかりでしたので、とても刺激的な日々でした。大学院まで行って卒業した後は、プロになりたいと思って、日本でも大きなオペラ団体である二期会のオペラ研修所で学ぶことに。舞台上

— いつ頃から歌手を夢見ていましたか？
小・中学校のときは大分県民オペラのジュニアコーラスに、高校でも合唱部に所属していたのですが、歌手になりたいと意識し始めたのは、龍廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクールに出場してからでしょうか。合唱で全員の力が評価されるのももちろん嬉しいことですが、独唱で賞を取ると個人を認めてもらえるんだという喜びを感じて、それから。高校は進学校だったので、音大に行こうとは考えていなかったのですが、自分が本当に就きたい仕事は何だろう？と思ったときにやはり歌ってみたいって。両親には反対されましたが「どうしても行きたい！」と泣きながら説得して、最終的には許してもらいました。

— そこからかなり努力をされたのでは？



— 2010年に東京二期会『魔笛』のパミーナ役でデビューさせていただき、いくつもの舞台を経験した後、1年間イタリアに留学しました。イタリアでは、とにかく勉強に時間を費やせること、演奏にとつぱり浸かれる環境が嬉しくて！自分の短所にも欠点にもいろいろ気づかされた実り多い日々でした。特に、生活のなかでイタリア語の発声やジェスチャーに触れたことは大きな糧になりました。街を歩いていてすれ違う男性の声や、市場で買い物をしているご婦人たちの会話、ニュースを伝える女性アナウンサーの声など、日常に声を出すためのヒントが溢れていました。それに、日本には「言われなくても察すること」が美德とされる文化がありますが、イタリアでは主張をしなければ存在しないものとして扱われるので、もともとハッキリ物を言う性格でしたが(いい意味で)よ

— 帰国後、大分の舞台に立つたご感想は？
2015年1月の『フィガロの結婚』で大分デビューをさせていただき、両親をはじめ、小さい頃から見守ってくださっている方々の前で歌えて本当に嬉しかったです。大分は、他県に比べると歌手の輩出量が多く、大先輩がたくさんいらっしゃいます。その点「大分出身」といって舞台に立つのはかなりの挑戦でもあります。でも、私は挑戦することが大好きなのでどんどん歌っていきたくて、そんな私の姿を見てオペラを勉強したいという若い方が増えるのが嬉しいです。

— これから、大分での舞台が続きますね。
12月のワンコインリレーコンサートは、ランチタイムなので明るい雰囲気です。ただだけの曲や、私の人生の分岐点になった思い出の曲を予定しています。特に『魔笛』の aria は、デビューのときに歌った大好きな曲です。実は、ジュニアコーラス時代に初めてオペラの舞台に立ったのが『魔笛』で、森の動物役でした。そんな縁のある『魔笛』ですが、来年3月の舞台は勅使河原三郎さんの演出、そして注目されている川瀬賢太郎さんの指揮です。おふたりがどんな演出、どんな音楽を作られるのかとても楽しみです。勅使河原さんはダンサーなので、肉体の美しさにもこだわりをお持ちかもしれません。私も体を鍛えて臨みたいと思います！そもそも『魔笛』は最も親しみやすいファンタジーオペラなので、大人から子どもまでたくさんの人に楽しんでいただけたら。大分では近年、質の高いオペラを観られる機会が増えています。少しずつ、みなさんがオペラに興味を持っていただけると嬉しく思います。

INFORMATION

チケット販売 ▶ 11/19(土)
ワンコインリレーコンサート vol.4 ソプラノ
2016.12/19(月)
時 開場/13:00 開演/13:30 所 iichiko音の泉ホール
¥ 500円 (全席指定)
※友の会びびは先行予約のみで会員割引はありません。
未就学児も入場可能ですがチケットが必要です。
所 iichiko総合文化センター ☎097-533-4004

出演 嘉目真木子 (ソプラノ)、武田朋子 (ピアノ)
演目 越谷達之助作曲・石川啄木作詞/初恋、ヘンデル作曲/オンブラ マイ フ、モーツァルト作曲/オペラ『魔笛』より「ああ、私のここには感じる」ほか

チケット販売 ▶ 11/19(土)
オペラ『魔笛』全2幕 新演出 ドイツ語上演・字幕付・日本語ナレーション
2017.3/11(土)
時 開場/13:15 開演/14:00 所 iichikoグランシアタ
¥ GS席12,000円、S席10,000円、A席8,000円、B席6,000円、C席4,000円、
U25割引A~C席のみ半額 (25歳以下)
※びび割引各10%割引 (U25割引との併用なし)
所 iichiko総合文化センター ☎097-533-4004

指揮 川瀬賢太郎
演出・装置・照明・衣裳 勅使河原三郎
出演 大塚博章 (ザラストロ)、安井陽子 (夜の女王)、鈴木准 (タミーノ)、
嘉目真木子 (パミーナ)、宮本益光 (パパゲーノ)、二期会合唱団 (合唱)、
神奈川フィルハーモニー管弦楽団 (管弦楽)、東京バレエ団 ほか

SPECIAL INTERVIEW



Soprano Singer

Makiko Yoshime



挑戦することが大好き！
どんどん歌っていききたいです



ソプラノ歌手
嘉目真木子

「今、最も実力のあるソプラノ歌手」との呼び声が高い嘉目真木子さんは、大分県出身。東京二期会の数々のステージ、特に宮本亜門演出の『フィガロの結婚』パミーナ役で脚光を浴びている彼女が、12月と来年3月に続いて故郷大分のステージに！これまでの道のりと今後の意気込みをお聞きしました。